

・ ・ 過去3回の浸水被害の経験を教訓に ・ ・

「水害に強く、安心して暮らせるまち かせだ」を目指す！

都市下水路
～鹿児島県南さつま市～

加世田市街地では、過去の異常降雨による甚大な床上・床下浸水被害（浸水面積 142ha 浸水家屋 830戸）を踏まえ、浸水対策の強化を図るため、都市下水路事業を平成24年度に着手し、令和2年度までの事業期間9ヵ年、総事業費25億円をかけて、4ヵ所のポンプ場及び調整池が完成しました。

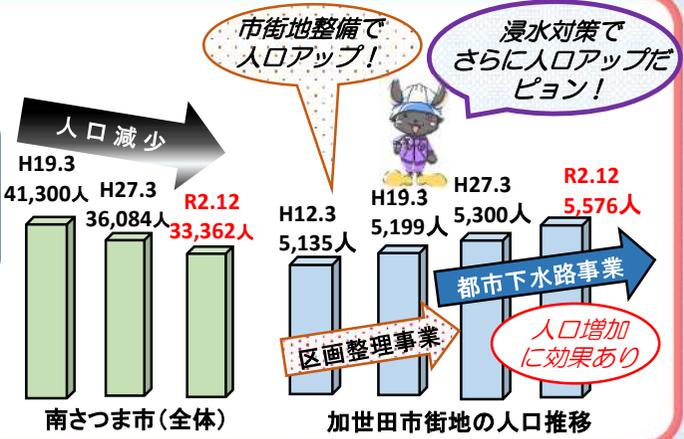
浸水被害状況 (S58.6豪雨) (H5台風)



数字でみる浸水対策効果

事象	日最大降水量 (mm)	時間最大降水量 (mm)
S58.6 豪雨	285 史上3位	51
H5 台風	241 史上6位	68 史上7位
R1.7 豪雨	354 史上1位	57.3 史上8位

観測史上1位降水量でも市街地内浸水被害ゼロ



浸水対策が喫緊の課題

対策効果は

主な浸水対策

ポンプ場の整備(調整池併設)



ポンプ場が整備されたことで、異常降雨時の内水排除が円滑に行われ、また、調整池を併設することで、近年多発するゲリラ豪雨にも対応するものであり、市民生活の安全確保と市街地発展に寄与しています。

浸水不安が解消され、「安心して暮らせるまち」となった加世田市街地

■ ポンプ場(完成)

平成23年家屋状況

令和2年末家屋状況

今後の展望

南さつま市全体人口は減少傾向にあるが、加世田市街地内人口は増加しています。その理由としては、

- ①土地区画整理事業による市街地整備
- ②都市下水路事業による浸水対策

であり、さらに令和4年4月から「公共下水道」も供用開始となり、**水害に強く、生活環境のよい、安心して住めるまち**の発展が期待されます。